

Q13： 学習環境をどのように整備すればよいですか。

A13： 英語活動を行うに当たっては、授業の活動内容に合った活動の場を設定することが大切です。必要に応じて、机や椅子を使わないスペースづくりや、ロールプレイしやすい場の設定など、教室内の環境整備を工夫することが効果的です。

また、「英語活動室」や「英語スペース」などの特別教室がある場合は、その授業に合った活動の場が設定しやすくなるよう、臨機応変に使用できる環境づくりが大切になるでしょう。英語のための教室が用意できるのなら、次のような環境整備をすると、児童が楽しい雰囲気の中で、いろいろな英語に触れることができるでしょう。そして児童の「英語活動のためのスイッチ」が入り、モチベーションを高めることができます。ただし、中学校との円滑な接続という観点からすると、6年生の最後まで英語スペースばかりで活動させるのではなく、教室で学習する経験も大切にしましょう。



1 英語にかかわる掲示物

掲示物の中にいろいろな単語とその絵をカラフルに示すととても楽しい雰囲気になります。英語活動にがんばって取り組もうという意欲につながると同時に、英語の表現に自然に慣れ親しむことにもなります。

また、果物、動物、乗り物、色や形などといったカテゴリ別に掲示します。このようにすることで、絵と言葉を視覚的に理解することができます。さらには、授業中に活用することができたり、児童が既習の表現をその掲示物を見ながら思い出したりすることもできます。

環境整備は、1つの単元が終わったらその内容を掲示し、順番に増やしていくなど継続して行っていくとよいでしょう。また、英語担当者だけでなく、全職員で協力して環境整備に当たることが大切です。



2 教材・教具の整備

英語活動を進めるに当たって、教材・教具は大変重要です。ここでは「共有すること」と「改善すること」を大切にしてほしいと思います。授業で使用した教材や教具は、次年度も使うことができるように、また、5・6年をまたがり、関連のある単元の場合に利用することができるように、分かりやすく整理することでお互いに効率よく活動を仕組むことができ、非常に助かるのではないかと思います。整理の仕方としては、次の二通りが考えられます。

- 学年ごと、題材ごとの分類

こうすると、その題材を次に扱うときにすぐに活用できます。そのときの簡単な指導案も一緒にしておくことさらに使いやすくなります。

- カテゴリーごとの分類

クリスマス関係、動物関係等というようにカテゴリーで分けます。

動物の整理箱には、動物に関連した大小のカードがあったり、ビンゴカードがあったりという具合です。

また、蓄積され、整理され、共有された内容については、児童の実態や授業の進み具合等に応じて常に定期的に見直し・改善を心がけていただきたいと思います。

3 その他

その他の環境として、世界地図や地球儀、絵本、歌を歌う時の CD、チャンツを行う時の機器、様々なビデオやビデオを視聴する時のモニター、再生機等も、必要に応じて効果的に活用してみましょう。